



左から中居哲弥理事長、達増拓也知事、田村正彦市長

話題 ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係(☎・内線1202)

奥州市のバトン引き継ぐ

公共関与型産業廃棄物最終処分場の着工式

クリーンいわて事業団(中居哲弥理事長)は5月19日、平館栂沢地区に整備する公共関与型産業廃棄物最終処分場の着工式を行い、工事の安全を祈願しました。

着工したのは、県内の産業廃棄物を受け入れる唯一の管理型最終処分場いわてクリーンセンター(奥州市)の後継処分場で、6年度の使用開始を目指します。

田村正彦市長は「岩手の産業維持、発展を支えるために必要不可欠な施設。雇用創出の効果も大きい」と語り、出席した関係者約40人が工事の安全を願いました。



栂沢地区に整備される最終処分場の完成予想図



ゴールを目指して一生懸命走る児童

全力勝負、勝敗の結果は

寄木小学校で元気いっぱいの運動会

寄木小は5月23日、運動会を開き、全校児童81人が赤・白組に分かれて力いっぱい競い合いました。

両組とも、運動会スローガン「最後まであきらめず本気で戦う寄木っ子」を体現。100m徒競走で1位を取った高橋萌亜さん(6年)は「スタートは緊張したけど、全力で走れた。うれしい」と笑顔を見せました。

一歩も引かない勝負を繰り広げた両組。最終種目を終えての結果は同点のダブル優勝で、珍しい幕引きに会場は驚きと笑い声に包まれました。



新型コロナウイルスワクチンの高齢者向け集団接種が始まり、240人に接種(5月29日、市役所)



岩手山を舞台に13校47人が競い合う(5月28、29の両日、第73回県高等学校総合体育大会登山競技開会式)



2、3年児童13人がホウレンソウ学習で種まきし、理解を深める(6月8日、田頭小敷地内ハウス)



入山者の安全などを祈願する関係者

登山シーズンが始まる

七時雨山山開き

七時雨山の安全祈願と山開き式は5月23日、田代平登山口で行われ、市と市観光協会、市山岳協会の代表者が出席し、入山者の安全と新型コロナウイルス感染症の早期終息を願いました。

例年行われている、登山隊の編成や山頂セレモニーは行わず、市山岳協会の会員など登山愛好者たちがそれぞれ山頂を目指しました。

市山岳協会の高橋時夫会長は「山でも感染症対策をして、登山を楽しんでほしい」と呼び掛けました。



102人の児童に弁当を手渡し

食べて遊んで楽しく学ぶ

おおぶけキッズカフェが始動

おおぶけキッズカフェ実行委員会は5月24日、食や産業などを通じて、大更地区の児童に地域への関心を深めてもらうと「おおぶけキッズカフェ」を始めました。

この日は弁当配食を実施。朝早くから集まったボランティアが地元の食材を使った弁当を作り、大更学童保育クラブに来た児童に1つずつ手渡しで配布しました。

同委員会は今後、子どもの居場所づくりや地域住民との交流を図るため、米や野菜農家の見学、生活安全指導などを予定しています。

泥だらけに笑顔こぼれる

平笠小で田植え体験

平笠小は5月25日、総合的な学習の時間に田植え体験を行い、3～6年生の児童20人が同校付近の田に餅米の稲苗を手植えました。

高橋博行さんが19年にわたって田と稲苗を提供し、学習をサポート。収穫した餅米は保護者などが購入し、売り上げは募金や同校の活動費に充てられます。

児童会長の伊藤結凜さん(6年)は「泥が足の指の間を通る感触が気持ち悪かったけど楽しかった。大きく育てほしい」と稲苗を見つめ、成長を願いました。



笑顔で手植えを楽しむ児童たち

メダル見据え精度上げる

パラリンピック日本代表候補者が集結

パラリンピックバイアスロン代表候補者合宿は5月24日から30日まで田山射撃場で行われ、日本代表候補者が射撃・ローラースキーの感覚を磨きました。

県出身で合宿に参加した阿部友里香さんは「日本では夏場に練習できる場所が少なく、海外選手と練習環境の差を感じていたが、ここでは夏場も練習できる。コンディションを整えてパラリンピックにピークを持っていき、個人、団体ともにメダルを狙っていきたい」と力強く語りました。



鋭い眼光で標的を狙う阿部選手



大きくなってねと声を掛けながら稚魚を放流する児童たち

跳びはねるアユを放流

安代小1、2年生が安比川で放流会

南部馬淵川漁業協同組合は5月31日、自然環境の保護と稚魚放流による増殖を目的に、五日市橋付近でアユの放流会を開き、約4,500匹の稚魚を放流しました。

放流会には、安代小1、2年生の児童27人が参加。児童たちは、同組合員から魚は直接接触しないなどの指導を受けたのち、15分ほどに育った稚魚をバケツから安比川に優しく放流しました。

1年生の関陽心さんは「初めての体験だったけど、とても楽しかった」と笑みをこぼしました。



8月の収穫を心待ちにしながら種をまく園児

おいしくなあれ期待込め

サラダファーム食育体験(スイートコーン種まき)

サラダファーム食育体験は5月27日、サラダファーム内ほ場で行われ、東慈寺保育園年長組の園児16人がスイートコーンの種をまきました。

食育体験は、地元の子供たちに食や農業を身近に感じてもらうために(株)サラダファームが企画。園児たちは「おおきなあれ」と声を掛け、手を真っ黒にしながら種を押し込んでいました。

遠藤優月ちゃんは「たのしかった。とうもろこしが好きだから収穫が楽しみ」と目を輝かせました。

すなっぷギャラリー



平笠高が団体戦で優勝、8大会連続インターハイ出場決める(5月29日、県高等学校総合体育大会相撲競技)



6月7日に開眼し、見ごろを迎えた八幡平ドラゴンアイ(6月10日、八幡平頂上付近の鏡沼)



児玉則浩さんに市ふるさと大使の委嘱状を交付。任期は令和4年5月26日まで(5月26日、市役所)



山本高斗さん(左)と池本司さんに市防犯隊員の委嘱状を交付(6月1日、市役所)



地域づくり一括交付金と(株)遠忠の協力により移設された歌人菊池知勇の歌碑(5月28日、大更小前庭)